

経営比較分析表（令和元年度決算）

福岡県 精神医療センター太宰府病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	精神科病院	精神病院	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(代行制)	5	-	-	臨
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
5,129,841	17,831	非該当	15:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

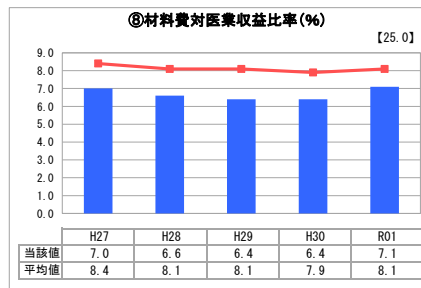
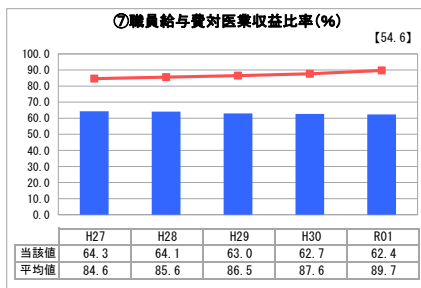
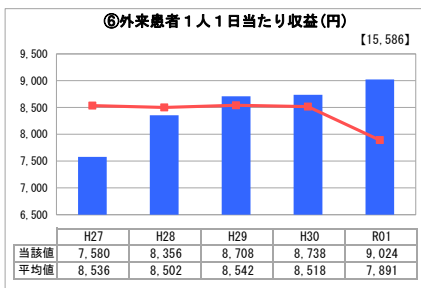
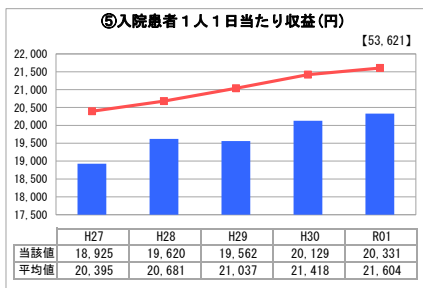
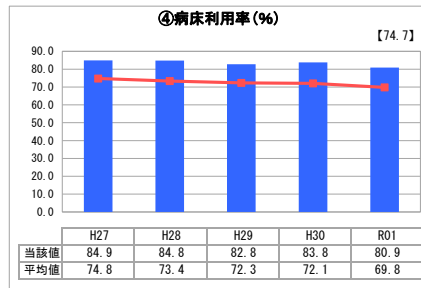
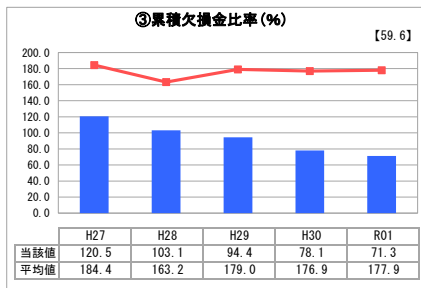
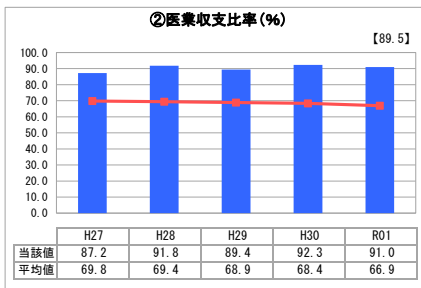
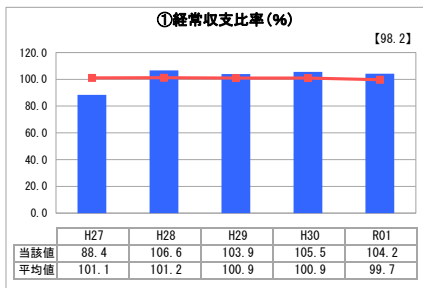
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
-	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
300	-	300
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
-	-	-

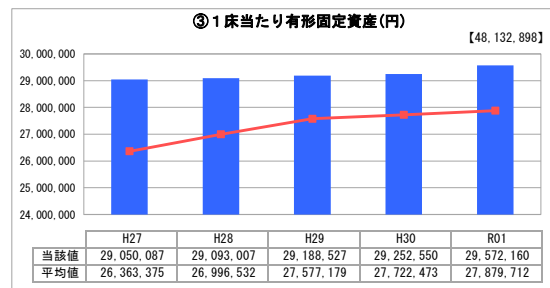
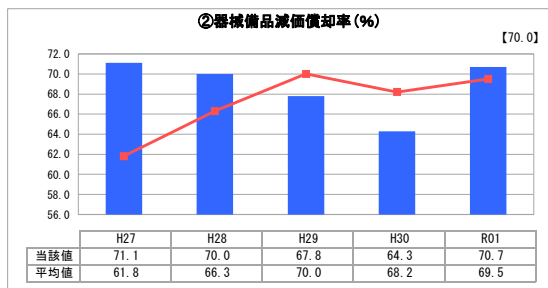
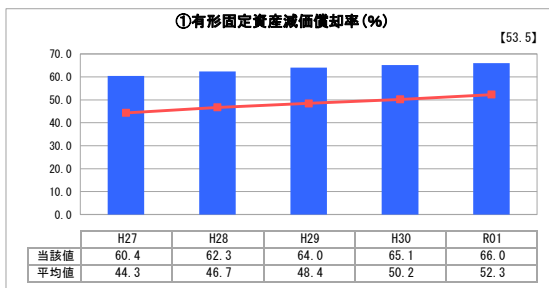
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	平成17 年度

I 地域において担っている役割

太宰府病院は、地域の医療機関で処遇が困難な患者を受け入れるとともに、災害時には被災者の心のケアなどにも従事するなど、県の精神医療の公的機関として、また中核的医療機関としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

太宰府病院は、県に精神科病院の設置義務があることを踏まえ、公設民営化により県の精神医療の中核的医療機関として維持することとし、平成17年度から指定管理者制度を導入している。経常収支比率については、総務省の繰出し基準に基づく一般会計からの繰入を行い、100%を達成している。医療収支比率については、指定管理者制度導入後、人件費の見直しや診療材料の効率的な購入等による経費削減を行い、類似病院平均値を上回る水準で推移している。累積欠損については、今後も管理経費の削減を図るとともに安定した管理運営を行うことで引き続き収支の改善に努める。収益の効率性については、訪問看護の実施や特効性注射剤の服薬拡大により病状悪化が抑制され、受診頻度が減少したことにより、患者数、医療収益ともに減少した。しかしながら、社会復帰支援の取組は評価すべき事項であり、今後も引き続き、地域の医療機関との連携による患者確保等を推進し、入院、外来ともに安定した収益の確保を図る。

2. 老朽化の状況について

太宰府病院は、A棟、B棟、C棟、リハビリテーションセンター棟で構成されており、平成11年及び平成13年に各棟の全面改築が完了した。有形固定資産については、耐用年数経過に伴い順次更新を行っており、今後も引き続き計画的な更新を行っていく。

全体総括

令和元年度決算では、経常収支比率は100%を達成するとともに、累積欠損金比率は類似病院平均値を下回る水準であることから、経営状況は順調である。今後も引き続き、経営の安定に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。